



ガバナー月信

vol.01 Jul / 2025



月信7月号

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ① ガバナーメッセージ | ⑨ 国際ロータリー第 2560 地区「山の会」 |
| ② 地区幹事挨拶 | ⑩ シングルスパーティー報告 |
| ③ 地区財務委員挨拶 | ⑪ 新潟西RC創立50周年記念式典 |
| ④ グローバル補助金奨学生オリエンテーション | ⑫ 財団委員会通信 |
| ⑤ ローターアクト地区協議会 | ⑬ 地区主要行事予定 (7月・8月) |
| ⑥ 佐渡南RC創立50周年記念式典 | ⑭ 新入会員紹介・訃報 |
| ⑦ 青少年交換受入学生関西研修旅行 | ⑮ コーディネーターニュース |
| ⑧ 地区ラーニング委員会 (ビギナーラーニング) | ⑯ ハイライトよねやま |

Rotary
第2560地区



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナー就任のご挨拶

2025-26 年度ガバナー
室賀 信宏 (白根 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2025-26 年度ガバナー就任のご挨拶を申し上げます。私はガバナー指名委員長の新保清久様より、約 2 年前にご指名を受け受諾いたしました。その後ガバナーノミニ・デジグネート、ガバナーノミニ、ガバナーエレクトを経て、たくさんの方々よりご指導ご協力を賜りガバナー年度への準備を進めてまいりました。

本年度は例年より 1 ヶ月遅く 2 月に開催されました、フロリダ州オーランドでの国際協議会参加を経て、3 月の PETS、4 月の地区研修・協議会も高橋秀樹ラーニングファシリテーターを始めとし皆様のご支援をいただき、無事に終了することができました。改めて感謝の意を表します。

先日突然、国際ロータリー会長エレクト マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏辞任の一報を受けたときは、まさに青天の霹靂という感じでした。個人的・ビジネス面の懸念が辞任の理由とされております。新たに就任をされました、ラグーザ・ロータリークラブ（イタリア）のフランチェスコ・アレツォ氏は、RI 会長メッセージを引継ぎ、よいことのために手を取りあおう～UNITE FOR GOOD～の変更はありません。

私はこのメッセージを受け、2560 地区 2025-26 年度の目標を「ロータリーで善の循環を」とさせていただきます。我々ロータリアンはロータリーファミリーとともに、益々の拡大と発展を成し遂げましょう。

結びに、これからの一年間 2560 地区のガバナー、そしてリーダーとして RI の発信する情報や活動方針を、地区内の会員に正確に分かりやすく発信していきたいと思ひます。また、各クラブが益々の発展を成し遂げるために地区スタッフとともに、協力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



エレクト年度からガバナー年度へ

地区幹事

関根 功雄（白根 RC）

歴代地区幹事先輩方から「エレクト年度」という言葉を、初めてお聞きしました。エレクト年度でしっかり準備をして、ガバナー年度を迎える。

「わからないことが、先ずわからない」という時点からのスタートでした。ガバナー補佐会議の準備をして、室賀年度の基本方針をお伝えする。そしてガバナー補佐ラーニングから会長幹事エレクトラーニング。室賀年度結団式から、渡米壮行会、帰国報告会と、毎月怒涛のように開催されるイベントの準備に追われ、エレクト年度を務めて参りました。その間、ガバナー事務所のスタッフからサポートされ、またガバナースタッフからもご協力をいただき、PETS、地区研修・協議会を何とか無事に終えることができました。

エレクト年度でとても嬉しいことがありました。PETS や地区研修・協議会では、各実行委員長と池野ガバナー補佐を中心に、第3分区をしっかりとまとめていただき、私があまり介入することなく開催できたこと。PETS の懇親会終了後、私が地区幹事恒例のロータリー旗の後片付けを行っていても、お見送りや片付けを第3分区全員で協力して行っていただけたこと。実際にはあり得ませんが、「明日から何の仕事をしようか？」という境地に。エレクト年度を無事に終わられることを確信した瞬間でした。

いよいよガバナー年度のスタートです。エレクト年度同様にしっかり準備をし、地区内ロータリアンの皆様の御協力を賜り、エレクト年度で準備した「ルール」上を、無事に走り切りたいと思います。LET IT BE。何とかなります。大丈夫。





室賀年度のスタートにあたり

財務委員

小川 信正 (新津中央 RC)

7月に入り新年度を迎え、室賀年度がスタートしました。

今年度室賀ガバナーの地区目標「ロータリーで善の循環を」をもとに地区予算案を編成しました。会員数については2025年1月末日の会員数は2,026名であり、近年微増傾向にあるため2025年7月の会員数を2,034名と類推しました。COVID-19感染症が第5類に移行されたことに伴い対面での会議実施が可能となったことから発生前の金額に戻し、一人当たりの分担金（一般会計・特別会計）につきましては、地区事務所・ガバナー事務所の一体運営により予算低減効果も反映しRC分担金は一昨年・昨年と同額とさせていただきました。

支出については、物価高騰の影響を考慮し、地区大会補助金、会議費等について増額をさせていただきました。予算編成に際して委員長の皆様方に正月早々事業計画及び予算要求案の提出に関してご協力いただき大変有難うございました。

大きな組織の予算編成に対して経験も無く、関根地区幹事を始め事務局の皆様にご迷惑をお掛けしご支援御協力いただいたことに深く感謝します。

今後は、室賀ガバナーの活動方針に添った予算執行に努めたいと存じます。これからの一年間宜しく願いいたします。



グローバル補助金奨学生 オリエンテーション

2024-25 年度ロータリー財団委員会
奨学金・学友会・VTT 委員会
委員長

大竹 賢一（三条東 RC）

グローバル補助金奨学生のオリエンテーションが5月17日に開催されました。このオリエンテーションは、グローバル補助金による支援を受ける奨学生が出発前に必ず受けなければならないもので、ロータリーとロータリー財団に関する知識、奨学金の受領と使途、報告などの手続き、奨学生としての心構えなどについて学ぶ場となっています。

今年度採用されたのは新潟県立大学の鵜崎真衣さん。高田ロータリークラブの推薦と3万ドルの奨学金を得てこの秋よりオランダのエラスムス大学、大学院に留学します。鵜崎さんは「フード・インセキュリティ、持続可能なアグリフードバリューチェーンの確立及び農業開発」をテーマに研究をされますが、これはロータリーの重点分野のひとつ「地域社会の経済発展」につながる内容となっています。第2560地区の代表として、しっかり研究に取り組まれ、立派な成果をあげられるように願っています。

グローバル補助金奨学金は返済不要ということもあって、学生や社会人からも問い合わせが多いのですが、世界中のロータリアンから寄せられた善意の寄付金が財源です。軽々と採用はできません。成績優秀というだけでは駄目なのです。ロータリーの理念、精神を理解し、7つの重点分野にかかわる研究に取り組むこと、派遣するクラブ、受入国のスポンサークラブと積極的に関わり活動を共にし、奉仕の精神を学んでいくこと、卒業後は国際的なステージで活躍する具体的なキャリアビジョンを持っていることなど、強い想いと覚悟があるかどうか重要です。私達、地区ロータリー財団委員会ではそういった要素をしっかり見定めて、採用を決定しています。

この奨学金制度は皆様からロータリー財団にご寄付いただいている資金から成り立っています。引き続きロータリー財団へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





2024-25 年度地区 ローターアクト地区協議会

2025-26 年度地区ローターアクト代表
高橋 優太 (新潟 RC)

5月17日(土) 三条ものづくり学校にて2024-25年度地区ローターアクト地区協議会を開催いたしました。当日は室賀ガバナーエレクトをはじめとしたロータリーアンの方々にもご臨席いただき、計23名にて開催することができました。ご参加いただきました皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、本会は「#つながるローターアクト」というテーマを設け、「アクター同士がつながる」「今後のアクト活動につながる」「自分とつながる」の3つの“つながり”を意識したプログラムといたしました。午前中には次年度へ向けた会長・幹事エレクト間の交流を図るプログラムを、午後はローターアクト基礎研修とクラブ運営や活動につながる自己発見のプログラムを実施しました。

ご参加いただいた皆様からは「ローターアクトに関する知識が深まった」「次年度会長へのモチベーションが高まった」といった嬉しいお言葉をいただいた反面、行事運営に関しては様々な反省点が出てきましたので、次年度行事の企画に活かし、より良いローターアクト活動を行っていけるよう精進してまいります。

結びとなりますが、皆様の更なるご発展を心より申し上げますとともに、ご参加いただきました皆様には改めて御礼申し上げます。今後ともローターアクト活動へのご支援・ご指導のほどよろしくお願いいたします。





佐渡南 RC 創立 50 周年記念式典

佐渡南ロータリークラブ
会長

本間 寿正

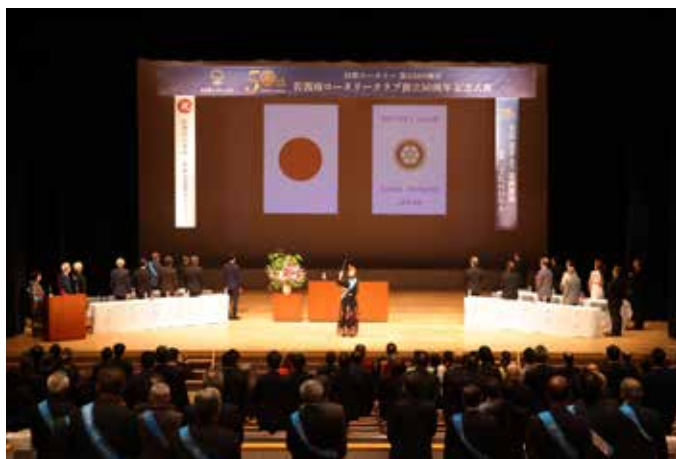
5月24日（土）、佐渡南ロータリークラブ創立50周年記念式典を、多くのゲストの皆様をお迎えして開催することができました。お忙しい中お集まりをいただきまして本当にありがとうございました。

記念事業として、佐渡市役所の新庁舎に「銘板石」を寄贈いたしました。これは、佐渡産の玄武岩（7トン）に、佐渡出身の前文化庁長官・宮田亮平先生に揮毫いただいたものです。金色に輝く文字は、世界文化遺産「佐渡島の金山」をイメージし、地域の発展と未来への希望を象徴しています。宮田先生のご協力のもと、意義深い記念事業となりました。

式典後は、宮田先生による「文化のDNA」と題したご講演が行われました。観客席に降りて語りかけるその姿勢は、佐渡の歴史と伝統文化をより身近に感じさせ、参加者に深い感銘を与えてくださいました。

祝賀会は「Ryokan 浦島」に場所を移して、私たちなりのおもてなしをさせていただきました。「朋有り遠方より来たる、亦楽しからずや」——多くの友人に囲まれて、私たちはとても楽しい時間を過ごすことができました。失礼や行き届かない面も多々あったかと思いますがどうかご容赦ください。

これまで佐渡南ロータリークラブを支えてくれたすべての皆様に心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬ友情をどうぞよろしくお願いいたします。





2024-25 年度 青少年交換受入学生関西研修旅行

2024-25 年度青少年交換委員会
委員

永尾 久志 (新潟南 RC)

当年度では、エラ（出身国、アメリカ／ホスト、新潟南 RC）、モニカ（台湾／新潟南 RC）、ジーナ（ドイツ／新潟西 RC）、ウィル（アメリカ／高田東 RC）の4名の IBS（インバウンドステュデント）を受け入れております。昨年8月の来日以来、こちらでの生活にも完全に慣れ、充実した学校生活を送ってきたところで、去る5月24日から3日間、関西へ研修旅行に行ってきました。二人の ROTEX（交換学生 OG）にお手伝いいただきながら、日本で最も有名な観光地京都・奈良を巡り、日本の歴史・異文化を学ぶことができました。すっかり仲良くなった4名にとっては、一生忘れることのない思い出になったと思います。

私は昨年引き続きの引率でしたが、どこへ行っても相変わらずの混雑ぶりで、彼らも一様に驚いていました。すでに有名で典型的な旅行となる京都・奈良よりも、変わった場所で変った体験をすることもありかなと思うところもありました。4名はこれまでスキーを体験したり、ホストファミリーの方々の計らいで、他にもさまざまなところへ旅行してきました。このかけがえのない体験を活かして、日本と母国の親善大使として、大いに活躍してもらいたいです。青少年交換に関わることへ、ロータリーの皆様からの、今後の多大なご支援を切にお願いいたしまして、私の報告とさせていただきます。





2024-25 年度 ビギナーラーニング開催のご報告

地区ラーニング委員会

委員

早川 滝徳 (三条 RC)

皆様におかれましては、日頃より地区ラーニング委員会の活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

去る5月31日(土)長岡市中央公民館さいわいプラザ大ホールにて、ビギナーラーニングを開催させていただきました。当日は南雲ガバナーをはじめガバナー補佐の皆様と2560地区の各クラブから入会3年未満のメンバーが80名弱と多くの皆様が参加されました。

初めに佐藤真地区ラーニング委員長より挨拶があり、高橋秀樹地区ラーニングファシリテーターをはじめ、地区ラーニングチームから「ロータリーとは」ということからラーニングがスタートしました。地区ラーニングチーム 西方太地リーダーからロータリーに入会したとしても5年未満で約50%が退会している現状の説明があり、その理由の一つにロータリーとしての説明や教育不足が挙げられるとのことで、今回のようなビギナーラーニングが必要と説明がありました。関川博副委員長からはロータリーの重点目標の一つであるポリオ撲滅の必要性の説明があり、ロータリーの基本理念を軸とした中核的価値観の重要性を理解していただきました。ロータリーに入ったからこそ「奉仕」を意識して行動する必要がある、その活動こそがロータリーでしかできないと感じていただいたと思います。そのロータリーの奉仕について、改めて高橋秀樹地区ラーニングファシリテーターから説明があり、誰にでもすぐわかり誰でも取り掛かれる事柄ではなく、今すぐ必要ではないが将来必ず必要になり自治体などが予算などの関係で手が付けられずにいる事柄こそがロータリークラブならではの奉仕活動であるという認識が必要と説明されました。前半の最後は地区ラーニングチーム ボーイド富美子サブリーダーからロータリーの友、ガバナー月信を読むということと、My Rotaryに登録してロータリーのあらゆる情報を手に入れ、希望すれば世界のメンバーと繋がることを、ご自分の経験談から話されていました。

休憩をはさみ、後半はグループディスカッションです。その前に関川博副委員長から、ロータリーに入会するまでのエピソードがあり、入会してからいかにロータリーに入会して良かったかのお話がありました。その後参加者を6つのグループに分け、各グループで「ロータリークラブに入会して良かったこと」をそれぞれ語り合い、各グループ単位で発表し、参加者全員で共有いたしました。

最後に修了書を授与して解散になったのですが、今回2560地区では初めてのビギナーラーニングでしたが、参加者の皆さんの活発的な意見交換があり大成功であったと感じます。入会して5年で

50%が退会しているという現状を打破し、より奉仕の心で活動しているロータリアンが 2560 地区に大勢いる未来を、ぜひ皆さんで作りに上げていきたいと感じた一日でした。

最後に参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。







国際ロータリー第 2560 地区 「山の会」 報告書

国際ロータリー第 2560 地区「山の会」

会長 **本間 健一郎** (新潟東 RC)

幹事 **鹿嶋 和子** (中条胎内 RC)

南雲ガバナー年度の「山の会」は、2025 年 5 月 31 日～6 月 1 日に実施しました。記念すべき 30 回目の「山の会」行事でしたが、天候不順の為、残念でしたが、登山は中止にしました。

1991-1992 年 栗山ガバナー年度に「山の会」は設立されました。

その当時は 群馬県と合同の「山の会」としてスタートし、毎年交代で新潟県の山と群馬県の山を交互に登り、ロータリーの交流を深めておられました。

2019 年～2023 年はコロナ感染予防のために、実施を控えさせていただきましたが、去年は、佐渡の山を縦走し、今回の「山の会」は長野県との県境に位置する戸倉山の登山を計画しました。年々、高齢化する「山の会」参加ロータリアンの脚力に合わせた山の選定にしています。

遠距離であったこともあり、今回は 7 名の常連者の参加になりました。

参加者の中には、第 1 回から参加されているロータリアンがおられて、これまでの「山の会」の様々なエピソードを語っていただきました。

前日から雨飾温泉・雨飾山荘までの道路は、「みやこ忘れの湯」に相応しい奥深いものでした。

携帯電話が通じない雨飾温泉では、ロータリー談義、山談義、湯治と酒を消灯まで楽しむことが出来ました。

天候不順で登山は出来ませんでしたが、今回の「山の会」は紅葉の季節にあわせて計画いたしますので、ロータリアンの皆様には「山の会」に参加していただき、ロータリーの親睦を深めていただきたいと願っています。

「山の会」が 30 回の長期に涉り継続できたことは、歴代ガバナーの深いご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

来年度の「山の会」の再会を祈念して、南雲年度の「山の会」報告とさせていただきます。



国際ロータリー第 2560 地区「山の会」の足跡

- ① 1991-1992 栗山ガバナー : 平標山
- ② 1992-1993 栗山ガバナー : 佐渡・金北山
- ③ 1993-1994 細瀬ガバナー : (群馬県) 尾瀬
- ④ 1994-1995 大島ガバナー : 米山
- ⑤ 1995-1996 重田ガバナー : (群馬県) 妙義山
- ⑥ 1996-1997 吉田ガバナー : 櫛形山
- ⑦ 1997-1998 久保田ガバナー : (群馬県) 子持山
- ⑧ 1998-1999 富山ガバナー : 火打山
- ⑨ 1999-2000 高木ガバナー : (群馬県) 尾瀬
- ⑩ 2000-2001 吉田ガバナー : 刈羽黒姫山
- ⑪ 2001-2002 野沢ガバナー : 守門岳
- ⑫ 2002-2003 佐野ガバナー : 五頭山
- ⑬ 2003-2004 原ガバナー : 上権現堂山
- ⑭ 2004-2005 横山ガバナー : 大毛無山
- ⑮ 2005-2006 神成ガバナー : 巻機山
- ⑯ 2006-2007 中條ガバナー : 平標山【平標山の家宿泊】
- ⑰ 2007-2008 渡辺ガバナー : 大蔵・菅名岳【出湯温泉 清廣館宿泊】
- ⑱ 2008-2009 馬場ガバナー : 栗ヶ岳【湯田上温泉 末廣館宿泊】
- ⑲ 2009-2010 植木ガバナー : 米山【柏崎海洋センター シーユース雷音宿泊】
- ⑳ 2010-2011 東山ガバナー : 鍋倉山【ゑしんの里 やすらぎ荘宿泊】
- ㉑ 2011-2012 石本ガバナー : 佐渡・大野亀、尻立山【ホテル浦島宿泊】
- ㉒ 2012-2013 鈴木ガバナー : 鋸山【山古志の宿 あまやち会館宿泊】
- ㉓ 2013-2014 山崎ガバナー : 高坪山【ロイヤル胎内パークホテル宿泊】
- ㉔ 2014-2015 佐々木ガバナー : 坂戸山【ホテル坂戸城宿泊】
- ㉕ 2015-2016 山本ガバナー : 角田山【寺泊温泉 住吉屋宿泊】
- ㉖ 2016-2017 田中ガバナー : 八石山【広田温泉(柏崎) 奥ノ湯 湯本館】
- ㉗ 2017-2018 新保ガバナー : 佐渡・石名天然杉～尻立山【ドンデン山荘宿泊】
- ㉘ 2018-2019 川瀬ガバナー : 番屋山【越後長野温泉 嵐溪荘宿泊】
- ㉙ 2023-2024 米山ガバナー : 佐渡・ドンデン山荘～金北山縦走
【ドンデン山荘宿泊】
- ㉚ 2024-2025 南雲ガバナー : 戸倉山【雨飾山荘宿泊】

*大谷ガバナー年度・佐藤ガバナー年度・高尾ガバナー年度・高橋ガバナー年度
新型コロナウイルス感染予防対策として「山の会」は活動を中止しました。

いいめぐり合いはあるかな？ 「シングルスパーティー」 報告

2024-25 年度社会奉仕委員会

委員長

青木 省一（長岡西 RC）

◎雪国魚沼ロータリークラブ主催（地区補助金利用事業）プロジェクト名：シングルスパーティー

プロジェクト概要：人口減少、高齢化が進む南魚沼地域で、婚姻による世帯の増加や出生率増加を目指した出会いの場の提供や見合い仲介人としての婚活支援を行う

日時 2025 年 6 月 1 日（日） 9 時 30 分 例会 10 時 30 分開会

会場 ナスパニューオータニ

今回で 29 回目のシングルスパーティーに参加、「取材」に行ってきました。

参加者は、男性 15 名 女性 14 名。雪国魚沼ロータリークラブメンバーは、富山ガバナーエレクト、高村会長、小野塚社会奉仕委員長をはじめ 16 名（応援者含）別紙タイムスケジュールに沿って進める。

1. 異性全員と 1 対 1 トーク…2 分間
2. 第 1 回顔見せ…テーブル番号を読み上げて立つ
3. 第 1 回投票…インプレッションカードに 3 人以上のNoを○で囲む
（もう少しお話ししたい異性）
4. チャレンジタイム…10 分ごとにお話したい人にチャレンジし、時間いっぱい交流する
5. 最終投票…アプローチカードに第一希望、第二希望のNoを書く
6. 発表…参加者全員にナスパニューオータニのドリンクチケットを封筒に入れて渡す。カップル成立した男女には、その封筒の中に相手の番号のカードを一緒に入れる

最終的に 4 組のペアが出来、終了後帰り際にラウンジを見たら、2 人で会話する人、複数でお茶をするグループがいて、うまく進むといいな～を思って帰ってきました。

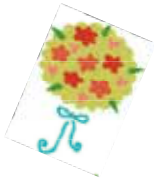
雪国魚沼ロータリークラブとしてはここまでで、この後の調査・報告は求めているですし、婚姻まで進んだ過去の組数は確認していないそうです。

魚沼地域に限らず、県内各地でも人口減少・若年層の流出が大きな課題となっているなか、コロナ禍での一時中断はあったと聞いていますが、29 回目を数えている事に心から敬服いたします。

♪ シングルスパーティーの流れ ♪

2025. 6. 1 (日) 10:30 ~ 14:00

ナスパニューオータニ

10:30	パーティー開始																																								
	1対1トーク プロフィールカードを交換し2分間のトーク。 音楽の合図で男性は隣の椅子にチェンジ。 一巡したら、合図でテーブルチェンジ。 																																								
11:50	インプレッションカード記入 気になる3人の番号に○をつける。 返却されたカードにつけられたマーカー は、あなたに○をつけた異性の番号です。 お互いのチェックを参考に、気になる方とフリータイムでお話してみても・・・？ <table><tr><th colspan="7">Impression Card</th><th>No.</th></tr><tr><td>A:</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td>B:</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td>C:</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td colspan="8">○でかこんでください</td></tr></table>	Impression Card							No.	A:	1	2	3	4	5	6		B:	1	2	3	4	5	6		C:	1	2	3	4	5	6		○でかこんでください							
Impression Card							No.																																		
A:	1	2	3	4	5	6																																			
B:	1	2	3	4	5	6																																			
C:	1	2	3	4	5	6																																			
○でかこんでください																																									
12:00	軽食ランチバイキング																																								
12:35	チャレンジタイム お食事を楽しみながら、10分ごとにチェンジしフリータイム。 アプローチカード記入 最終的に気になった2人の番号を記入。 <table><tr><th colspan="2">Approach Card</th></tr><tr><td>自分のNo.</td><td> 第1希望No. 第2希望No. </td></tr></table>	Approach Card		自分のNo.	第1希望No. 第2希望No.																																				
Approach Card																																									
自分のNo.	第1希望No. 第2希望No.																																								
	お互いの番号がピッタリあった2人の番号をお知らせします																																								
14:00頃	閉 会																																								

素敵な出会いと楽しいひとときを、スタッフ一同応援します。

主催：雪国魚沼ロータリークラブ





50 周年に感謝を込めて 「勇往邁進」

新潟西ロータリークラブ
会長
高木 豊隆

お陰をもちまして我がクラブは6月7日に創立50周年を迎えることができました。

ご多忙の中、新潟市長 中原八一様、新潟商工会議所 会頭 福田勝之様、南雲博文ガバナーはじめ多くの来賓の皆様、海外からタイメーチャンロータリークラブの皆様、県外からは高崎ロータリークラブの皆様、第2560地区内からは、スポンサークラブの新潟南ロータリークラブはじめ多数のロータリークラブの皆様のご臨席を賜り、この創立50周年記念式典を開催できましたことを心から感謝申し上げます。

新潟西ロータリークラブは、1975年6月5日 新潟南ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生し、同年6月25日 RIより正式に加盟が承認され23名のチャーターメンバーで発足いたしました。50年後の現在の会員数は55名を数えます。これもひとえに、歴代会長はじめ先輩諸氏のご努力による賜物であります。

この度、創立50周年を記念いたしまして、タイ ドイジョラケ丘陵の環境保全支援、ロータリー日本財団ポリオプラス基金寄付、米山記念奨学会寄付、新潟市が運営する母子生活支援施設ふじみ苑・乳児院はるかに寄付をさせていただきました。5月に中原新潟市長に目録をお渡しした際には、恵まれない子供達の為に大事に使わせていただきます。と大変喜んでいただきました。

未来ある子供達に夢と希望をもってもらいたく、新潟西ロータリークラブはこれからも次世代の子供達の為に尽力してまいりたいと思います。

国際ロータリー第2560地区2024-25年度 南雲ガバナーのテーマ「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」に伴いまして、新潟西ロータリークラブのテーマを「ワンフォーオール・オールフォーワン」にしました。『1人はみんなの為に、みんなは1人の為に』を基に、今後も新潟西ロータリークラブ会員相互が事業に参画し、より一層の絆を深めながら、新たな事業を共に実施することで、スクラムを組んで60年・さらに100年と勇往邁進してロータリー活動・社会貢献してまいりたいと思います。

ご支援いただきました皆様方に重ねて感謝を申し上げお礼のご挨拶とさせていただきます。



「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

冠名基金　一水と衛生－　Named Endowed Fund
－Water, Sanitation, and Hygiene－

ロータリー財団委員会 副委員長
武田 真（水原 RC）

2024-25 南雲ガバナ一年度において、ロータリー財団重点分野の一つである「水と衛生」分野を支援するグローバル補助金の地区冠名基金を設立しました。設置された基金の運用益は分野におけるロータリー財団の目標達成のために使用されます。基金へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

■「水と衛生」分野におけるロータリー財団の目標

ロータリーのアプローチは、2030 年までにすべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保するという国連の「持続可能な開発目標」の目標 6 に沿うものです。ロータリーでは、次のような方法でこれを支援します。

- ・安全で手頃な価格の飲み水をすべての人が公平に利用できるようにするための改善。
- ・地表水および地下水の水源の保護と維持、汚染および汚染物質の削減、気候レジリエンス（回復力）のあるインフラの建設、廃水再利用の推進による水質と安全性の改善。
- ・衛生的な方法で排便が処理される地域社会の達成を目的とする、改善された衛生と水管理の公共サービスのすべての人による公平なアクセス改善。
- ・疾病の蔓延を防ぎ、サービスを持続させるための、地域社会の人びとの衛生に関する知識、行動様式、習慣の改善。
- ・持続可能な水・衛生サービスの開発、財務、維持ができるようにするための、政府、諸機関、地域社会の能力強化。
- ・水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

なお、「水と衛生 (Water, Sanitation, and Hygiene)」での「Water」、「Sanitation」、「Hygiene」の定義は次の通りです。

- ・「Water」：すべての人が個人的および家庭的に水を使用するために、安全に・十分に・満足に、物理的にアクセス可能で安価な水を得る権利がある。

- ・「Sanitation」：排泄物と人が接触しないよう衛生的に分離するなど人の排泄物を安全に管理するための施設やサービス等の提供・整備、排水や汚物等の安全な処分、再利用、扱いなども含まれる。
- ・「Hygiene」：健康を維持し、病気の蔓延等を防ぐための条件と習慣のことで、石鹸をつかった手洗いや月経衛生管理、食品衛生などの行動、ふるまいについて。

■寄贈先：District2560 Water, Sanitation, and Hygiene
Fund DDF (E21815) (Program Year 2025)

■参考リンク(外部リンク)

『水と衛生』分野のグローバル補助金 授与のガイド

My ROTARY より検索可能

『水と衛生に対する人権』

UN position of Water and Sanitation:

<https://www.unwater.org/water-facts/human-rights-water-and-sanitation>

『WASH — 水と衛生』

UN position on Hygiene:

<https://www.unwater.org/water-facts/wash-water-sanitation-and-hygiene>

(画面右上で言語変更可能)

第 2560 地区 2024-25 年度 5 月末 会員数報告

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	／	-	377	386	44	9
新発田	2	31.5%	87	92	1	5
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	32.4%	33	34	2	1
中条	4	100.0%	49	50	3	1
新発田城南	3	25.0%	39	40	5	1
豊栄	2	31.8%	23	22	2	-1
新発田中央	4	11.4%	43	44	6	1
中条胎内	4	51.3%	39	39	10	0
村上岩船	2	26.9%	26	27	7	1
第2分区 (9クラブ)	／	-	447	465	32	18
新潟	3	35.9%	78	78	3	0
新潟東	4	19.4%	62	67	8	5
新潟南	4	37.9%	113	116	8	3
佐渡	2	66.7%	4	3	0	-1
新潟西	4	65.5%	52	54	3	2
佐渡南	3	11.4%	38	44	3	6
新潟北	3	31.6%	37	38	1	1
新潟中央	2	37.5%	23	24	0	1
新潟万代	3	56.1%	40	41	6	1
第3分区 (5クラブ)	／	-	94	99	8	5
新津	3	56.3%	15	16	1	1
村松	3	47.4%	15	19	1	4
白根	5	30.3%	31	33	2	2
新津中央	3	38.5%	27	26	4	-1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	5	0	-1
第4分区 (11クラブ)	／	-	354	356	32	2
三条	3	17.9%	54	56	0	2
燕	3	7.1%	42	42	3	0
加茂	3	13.3%	29	30	4	1
三条南	3	21.1%	37	38	3	1
分水	3	66.7%	30	33	4	3
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.2%	24	24	3	0
三条北	3	18.0%	52	50	5	-2
巻	3	8.3%	26	24	2	-2
田上あじさい	4	16.7%	6	5	2	-1
三条東	2	23.5%	34	34	5	0

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	／	-	297	297	30	-2
長岡	3	63.0%	47	46	5	-1
柏崎	3	6.4%	45	47	0	0
長岡東	3	28.3%	60	60	9	0
柏崎東	3	20.5%	41	39	2	-2
栃尾	3	25.0%	20	20	1	0
長岡西	4	20.0%	49	50	3	1
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分区 (6クラブ)	／	-	114	121	12	7
十日町	3	23.7%	28	38	8	10
小千谷	3	18.5%	27	27	2	0
雪国魚沼	4	76.9%	26	26	2	0
十日町北	1	0.0%	10	9	0	-1
津南	3	28.6%	15	13	0	-2
越後魚沼	3	50.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	／	-	303	316	23	13
高田	3	38.8%	67	67	4	0
直江津	3	35.6%	72	73	6	1
新井妙高	3	18.9%	34	37	1	3
糸魚川	4	78.7%	43	47	3	4
高田東	3	54.5%	33	33	2	0
糸魚川中央	4	48.4%	26	32	3	6
越後春日山	3	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
5月末会員数	2,040 人
女性会員数	181 人
純増減会員数	54 人
My Rotaryアカウント登録率	33.7 %

地区主要行事予定

2025年6月23日現在

年 月 日			行 事	会 場
2025年 (R7) 室賀年度	7月	母子の健康月間		
		1	(火) 第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京プリンスホテル
		6	(日) 全国青少年交換委員長会議	AP八重洲+ZOOM
		12~13	(土~日) インターアクト年次大会 (ホストクラブ:長岡RC)	長岡グランドホテル、ミライエ長岡
		13~14	(日~月) 青少年交換短期交換学生研修旅行	佐渡
		16	(水) ①中条RC 公式訪問	中条グランドホテル
		17	(木) ②佐渡RC、佐渡南RC 単独公式訪問	のがたハウス/ Ryokan浦島
		19	(土) 地区ロータリー財団セミナー	ホテルイタリア軒
		23	(水) ②新潟南RC 公式訪問	新潟グランドホテル
		25	(金) ①中条胎内RC 公式訪問	中条グランドホテル
		26	(土) クラブ活性化セミナー	ホテルオークラ新潟
		26	(土) 青少年交換短期交換学生歓送会	新潟市内
		29	(火) ②新潟東RC、新潟北RC、新潟中央RC 合同公式訪問	
	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間		
		5	(火) ⑤長岡RC 公式訪問	長岡グランドホテル
		6	(水) ①水原RC、豊栄RC 合同公式訪問	
		7	(木) ⑤長岡西RC 公式訪問	長岡ベルナール
		7	(木) 大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
		18	(月) ②新潟万代RC 公式訪問	新潟グランドホテル
		19	(火) ②分水RC 公式訪問	新潟大栄信用組合
		21	(木) ①新発田城南RC 公式訪問	割烹 はまや
		24~25	(日~月) 米山記念奨学生第2回親睦交流会	新潟県内
		26	(火) ①村松RC 公式訪問	割烹 松の家
		27	(水) ①三条RC 公式訪問	三条信用金庫本店
		30	(土) 長期受入学生オリエンテーション	ホテルイタリア軒
		30	(土) 国際奉仕フォーラム(青少年交換帰国報告会)	ホテルイタリア軒

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
十日町	富里 弘子	2024.06.06	朝日生命(株)	営業所長	保険業
十日町	福本 玲子	2024.07.04	(株)当間高原リゾート	代表取締役社長	観光業
十日町	酒井 晶子	2024.07.04	カネコ工業(株)	常務取締役	総合建設業
十日町	福嶋 良章	2024.07.04	上越ケーブルビジョン(株)	取締役十日町情報センター長	情報サービス
十日町	小島 宏	2024.07.04	十日町交通(株)	代表取締役	運送・輸送業
十日町	山田 剛	2024.07.04	山田建工(株)	代表取締役	建築請負業
十日町	上村 友博	2024.07.04	(株)上島	代表取締役	食料品販売
十日町	村山 亮太	2024.07.04	村山公認会計士事務所	所長	税理士・会計士
十日町	河合 里美	2024.08.01	トラストラボ(株)	代表取締役	情報サービス
十日町	澤野 崇	2025.03.06	社会保険労務士法人 澤野オフィス	社員	社会保険労務士
十日町	油品 登美子	2025.03.06	(株)カーショップみなみ	取締役部長	自動車販売・整備
十日町	大塚 渚	2025.04.03	日本生命(相)	長岡支社 十日町営業部 営業部長	保険業
佐渡南	山田 純也	2025.05.01	(株)山本設備	代表取締役社長	管工事
佐渡南	石井 芳春	2025.05.01	石井石材店	代表	石材店
糸魚川	松澤 和彦	2025.05.01	糸魚川バス(株)	取締役相談	道路旅客運送業
村松	澤野 亮	2025.05.05	合同会社Miraie Green Challenge	代表社員	電気事業
新潟南	田辺 智章	2025.05.07	(株)T.tanabe不動産	代表取締役	不動産
新潟南	権平 将	2025.05.07	プルデンシャル生命保険(株) 新潟支社	営業所長	生命保険
新潟南	大鳥 剛	2025.05.07	アサヒビール(株) 新潟支店	支店長	ビール醸造
新潟南	村田 有生	2025.05.07	TM共同法律事務所	代表弁護士	民事弁護士
長岡東	本間 全一	2025.05.21	(株)金盛商会	代表取締役	中古品貿易
新潟南	首藤 大輔	2025.05.28	(株)新潟博報堂	代表取締役社長	広告企画制作
新潟東	小宮山 巨	2025.06.06	みずほ証券(株)	新潟支店長	証券業
中条胎内	森田 由美	2025.06.06	森田こうえい事務所	事務員	オフィス事務



第2地域 2024-25年度 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 若林 英博（東京麹町 RC）

4月のRI理事会において、「ロータリーコーディネーター(RC)」の呼称が「ロータリー会員増強コーディネーター(RMC)」に変更されました。私たちの活動目的が、より一層明確となりました。クラブがもっと元気になるよう、クラブの活性化と会員増強に注力してまいります。

皆さまのクラブがより活気に満ち、地域に根ざした存在として輝き続けるよう、私も微力ながらお力添えできればと存じます。また、今年度、コーディネーターニュースの取りまとめも担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



「行動が変われば結果が変わる」—各地で既に第一歩が始まっています—

ご相談いただいた地区・クラブにおいて、私からご提案している「会員増強のための具体的な3つの手法」をご紹介します。お役立てください。

←パワーポイントなどの資料データはこちら https://drive.google.com/drive/folders/1DcVva6EoPLclwPsi968L59ZEmSZpFmi?usp=drive_link

① 戦略的オープン例会の勧め：

ドキドキ ドキドキ

戦略的オープン例会では緻密な行動でゲストの入会率を上げていきます。ゲストは心細さ、アウェイ感、居心地の悪さ、不安を感じるものです。年間スケジュールに「戦略的オープン例会」を設定し、計画的かつ丁寧な準備を行うことで、ゲストにとって温かく、安心して参加できる雰囲気をつくります。皆さんでお誘いをして、複数のゲストをお招きし、クラブの魅力を発信しましょう。



具体策：招待状を丁寧に発送（口頭のみは NG／元会員・学友も対象に）・共通点のあるメンバーと同卓になるよう座席を工夫・出迎えやテーブルマスターの配置など役割分担を明確に・ゲストの名前を呼び、笑顔で賑やかに歓迎・知名度や人気のある卓話者を招く・ゲストにもマイクを渡し、自己紹介や感想を話してもらう・クラブ週報や地域のロータリー雑誌を贈呈し、ロータリーを紹介・例会後、礼状や当日の写真を送付して定期的にフォローアップ・地区リーダーにゲスト歓迎のスピーチを依頼・会長から閉会時に歓迎のメッセージを伝える。

② ロータリー衛星クラブの設立：創立会員が 8 名集まれば、スポンサークラブのもとで衛星クラブの設立が可能です。若手



創立会員 8 名

経営者や学友など、時間や会費の制約で入会をためらっていた方を対象にすることができ、クラブの柔軟な運営と新たな活力の創出につながります。スポンサークラブと衛星クラブの会員数は合算され、スポンサークラブにとっても会員数増加につながります。衛星クラブは独自の理事会をもち、定款細則に基づいて運営されますので、自主性を保ちながらも、ロータリーの理念を共有することができます。

③ クラブ独自の会員種類の導入による退会防止と次世代会員の入会促進：クラブ独自の会員種類を導入

し、退会の抑制と多様な層からの入会促進を図りましょう。会費の減額や入会金の免除など、金銭的な負担を軽減する柔軟な会員制度により、退会希望者の慰留・会員家族のスムーズな入会導線の確保・多様な人材を受け入れるクラブ風土の形成が実現します。

シニア会員



具体的な会員種類：シニア会員制度（高齢会員の退会防止と「生涯ロータリアン」化を支援）、家族会員制度（配偶者やご子息などの入会を促進し、他団体流出を防止）・WEB 会員制度（対面参加が困難な方や遠方・転勤者を対象に）



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 簡 仁一（茨木 RC）

2022年7月から25年6月まで、第3地域の ARPIC(ロータリー公共イメージコーディネーター補佐)を務めさせていただきました。

この3年間の活動において、携わり、最も心に残っているのが、世界ポリオデーイベントとして開催してきた「フォトコンテスト」です。

毎回、ポリオ根絶を願って展開された地区やクラブの活動、そして熱意を伝える様々な写真が寄せられてきました。

昨年の「RI 会長賞」受賞作は、仙台育英学園高等学校文化祭で、ポリオ根絶を訴えるチアリーダー部員の生き生きとした表情をとらえた「チアリーダーの『あと少し』」。ポリオ根絶まで「あと一歩」という思いがあふれるカットでした。この写真はもちろん、どの作品からも、ポリオ根絶への祈りが感じられ、魅せられたものです。



チアリーダーの「あと少し」 仙台東ロータリークラブ 仙台育英学園高等学校インターアクトクラブ

今年も、作品募集が始まっています。皆さんの願いを込めた多彩な写真をぜひ、お寄せいただければ、と思います。ロータリーは価値観を共有する人たちの集まりであり、会員の一人ひとりが広報マンといえるでしょう。私は、コロナ禍真ただ中の2020-21年度にガバナーを務めましたが、できること、できないこと、すべきこと、すべきではないことを模索する日々でした。この体験を通して、感じたのは、何かをすれば必ずリスクがある一方で、しないことによるリスクもあるのではないか、ということです。

今、改めて、「一人ひとりが広報マン」という意識を大切に、「フォトコンテスト」はもちろん、多彩なロータリー活動に取り組み、世の中とよい関係をつくっていければ、と実感しています。

3年間、ありがとうございました。皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、公共イメージ向上へのご理解が、さらに進むことを心から願っております。



1 理事会開催 —26 学年度は 10 人減の 940 人採用—

6月10日、第47回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事29人、監事3人が出席しました。開会に先駆け、故小沢一彦名誉理事長の追悼映像の上映と、黙とうを行いました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2026 学年度奨学生採用数、2026 学年度募集要項、2025 年度事業計

画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2026 学年度の奨学生採用数は、前年度から10人減少の940人(枠)とすることなどが決定しました。

2 よねやま親善大使セレモニー開催 「かけがえのない経験」

6月10日理事会開催前、この6月末で退任となる第5代よねやま親善大使3人の退任式が行われました。退任記念品の感謝の盾が贈られ、「かけがえのない体験をさせてもらった」「活動期間中に得たつながりや学びをこれから還元していきたい」など、それぞれの大使が2年に及ぶ活動や支援への感謝を述べました。精力的かつ柔軟に活動していただき、心より感謝申し上げます。

続いて、第6代よねやま親善大使3人の任命式が行われ、全国各地の理事が見守るなか、



若林理事長から委嘱状が手渡され、それぞれが活動への抱負を述べました。

その後は、事務局会議室にて第5代・第6代よねやま親善大使合同オリエンテーションを開催。親善大使活動を行う上でのアドバイスや体験談について情報交換を行いました。

7月から、第6代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。地区の米山関連行事やクラブ例会などに、ぜひお呼びください。招へいをご希望の場合は、派遣申請書の提出が必要となるため、米山奨学会事務局広報担当(長尾)までご連絡ください。



3 寄付金速報 今年度の寄付実績は 6 月 30 日(月)まで

前年同期比

-7.1%

普 -1.3% 特 -9.6%

5月末までの寄付金は前年同期と比べて7.1%減(普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:9.6%減)、約9,380万円の減少となりました。5月は18

のクラブから創立記念寄付として、特別寄付合計295万円のご寄付をいただきました。

今年度のご寄付は 6月30日(月)までに着金するよう、余裕をもってご送金をお願いいたします。今年度も残り2週間余りとなりましたが、引き続き当事業へご協力を賜りますようお願いいたします。

4 全国学友会代表者セミナー開催

国内外の米山学友会代表者を対象としたセミナーが5月24日、ハイブリッド形式で開催されました。学友



会をさらに発展させるためにヒントを得てもらうことを目的に開催された今回、会場には学友会代表者31人が集まり、海外学友会の7人がオンラインで参加しました。また、初の試みとして、各地区の米山奨学委員にも参加を呼びかけ、33人が出席。総勢70人を超えました。

午前の部では、若林紀男理事長、学友委員会の石黒秀司委員長からそれぞれ挨拶をいただいた後、事務局から標準会則の見直し等について説明を行いました。次に、ベトナム南学友会から奉仕活動について事例発表が行われた後、台湾学友会から届いた第4回米山学友による世界

大会「愛 in 台湾」のメッセージ映像を上映。続いて、米山奨学会からの提案として、10月の米山月間に共通テーマ

で奉仕活動を行うことに関して、説明が行われました。

午後の部では第2610地区と第2620地区学友会から活動の工夫について事例発表が行われた後、学友会代表者は5グループに分かれ、グループディスカッションを実施。別室で開かれた地区米山委員対象のセッションでは、学友会との連携強化について、3地区の事例紹介を交えながら意見交換が行われました。大久保章宏学友担当理事からの講評後、交流会が開催され、地区を越えた学友会の輪が広がる機会となりました。

5 20年続く米山学友とカウンセラーの縁

国際ロータリー第2760地区岡崎東RCの山内隆一会員は今から約20年前、グエン タイ ズィさん（2005-07／岡崎東RC）と出会い、カウンセラーとして日々を共にしました。当時からタイさんは誰と



山内会員(中央)とタイさん(左)夫妻

でも気さくに交流ができる好青年で、一番の思い出は2005年、愛知万博の会場でクラブ例会を行った時のこと。ベトナム館に入場し、とても喜んでいてタイさんの姿が印象に残っているそうです。

帰国後もメールでのやり取りを絶やすことなく続け、現在は阪和ベトナム株式会社の鉄鋼部

署でゼネラルマネージャーとして勤務するタイさんが、今年の4月に出張で来日した際に岡崎で再会。山内会員の親族も含め盛大に歓迎しました。

奨学期間を終了する時にメールでのやり取りを続けていこうと約束し、現在まで18年間二人の交流が続いていることについて、山内会員は「自ら会いに行くことも大切」とし、カウンセラーを務める上で大切なことは「海外から来日して不安や悩みを抱えている若者に対する心のケアや、アドバイスが適切にできるかどうか」だと述べられています。

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限2人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。地区が誇る学友を一人でも多く見出し、米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。

詳細はこちら

